

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-17	小学校	道 徳	道 徳	2 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 206 道徳 207	小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2	どうとくノート	

1. 編修の基本方針

— 道徳科の時間を通して、子どもたちに「よりよく生きる力」を育みたい —

みずから心をひらき、考え、そして行動する

子どもたちの真の生きる力を育みたい

そのことが、ともによりよく生きていく喜びにつながるように……

私たちはこの教科書が、そのたすけとなることを心から願って編修しました。

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を実現するため、次のような基本方針で編修しました。

基本方針

1

みずから考えたくなる！

児童の主体的な学びをサポートします



基本方針

2

授業に躍動感を！

豊かな対話と学び合いのある道徳科の時間にします

基本方針

3

社会に根ざした道徳教育を！

いま・これからの社会的課題にしっかり対応し、深い学びを提供します

1 読み取りやすく興味を引く教材・紙面

(1) 感動・共感を呼ぶ教材の選定

物語からドキュメンタリーまで多様な教材をそろえています。感動とともに児童の経験を踏まえた思考を引き出すようにしました。

(2) 見やすく、親しみやすい大きな紙面

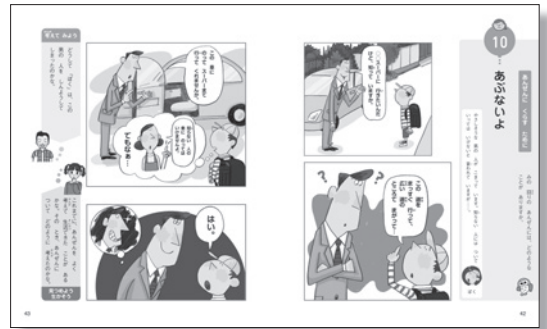
大きな判型（A B判）を採用し、大きなイラストや写真で、児童の興味・関心を惹きつけるようにしました。

(3) 学習をガイドするキャラクター

親しみやすいキャラクターが活躍して、児童にとって内容を身近に捉えやすくなるよう工夫しました。



(p.150 ~ 151)



(p.42 ~ 43)

2 学びに見通しの持てる構成 —学習の意義や全体を見通した例示—

(1) ていねいでわかりやすいオリエンテーションページ

巻頭にオリエンテーションのページを設け、道徳科の意義や学び方などを、児童の発達の段階に応じてわかりやすく示しました。



(p. ③ ~ 1)

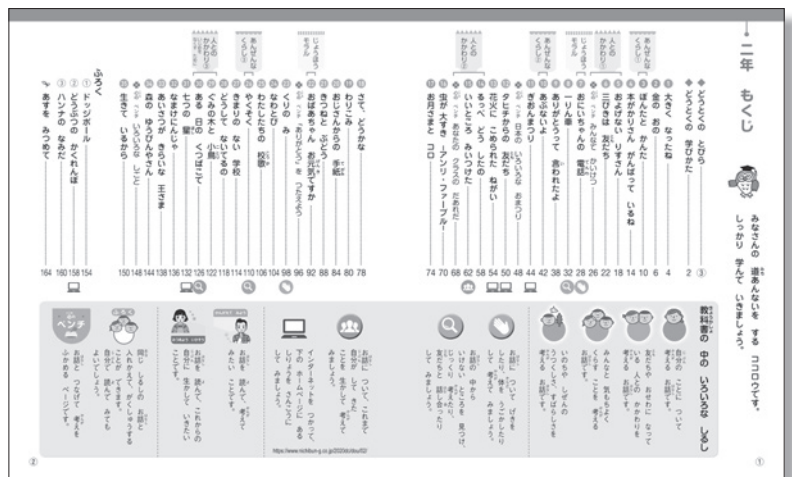


(p.2 ~ 3)

(2) 教材配列と見やすいもくじ

重要なテーマである「いじめの防止」について複数の教材を1つのまとまり（ユニット）とすることで、学級の状況に応じて、学習を集中的に展開できるようにしました。

また、もくじでは、「安全」「情報モラル」などのテーマについても教材名の上の欄にそれぞれ提示し、1年間の学習の全体像、系統性が一目でわかるよう工夫しました。



(p. ① ~ ②)

1 考えを引き出し、議論を活発にするために —豊かな思考や議論を促す紙面要素—

児童が取り組みやすく、また教師が指導・評価しやすくなるように、紙面要素を適切に配置しました。児童が教材内容を素早く理解できるので、授業の中に思考や議論のための時間を作りやすくなります。

⑤ 考えてみよう

教材のねらいに迫る発問例を児童が自発的に問いかける形で示しました。

⑥ 見つめよう 生かそう

学習を通して考えたこと、わかったことを確かめたり、深く心に刻んだり、未来への思いや課題について考えたりするための発問例を示しました。



(p.6～9)

① 主題名

ねらいに対応した「主題」を端的に表しました。

② 導入の発問例

本時の導入に役立つ発問例を示しました。

③ あらすじ

児童の教材に対する理解を助けるために設定しました。

④ 主な登場人物

教材に登場する主な登場人物を示して、児童が親しみを持てるようにしました。

2 学習の手引き —主体的、対話的で深い学び—

「問題解決的な学習」や「体験的な学習」の手法を用いるのに適した教材、および「多様な実践活動を生かす学習」に対応した教材の後ろには、児童の学びと教師の指導の参考例として「学習の手引き」を付けています。これにより、主体的、対話的で深い学びが展開できるとともに、特別活動等における多様な実践活動を生かした充実した学習ができるように工夫しました。

問題解決的な学習	—りん車 やくそく ある 日の くつばこで	p.32～37 p.110～113 p.126～131
体験的な学習	おにいちゃんの 電話 くりのみ	p.28～31 p.98～103
多様な実践活動を 生かす学習	いい ところ みつけた	p.62～67



(p.36～37)

3 学習や指導を充実させるために —多面的、多角的な見方・考え方で、広げ、深め、心に刻む—

(1) コラム (心のベンチ)

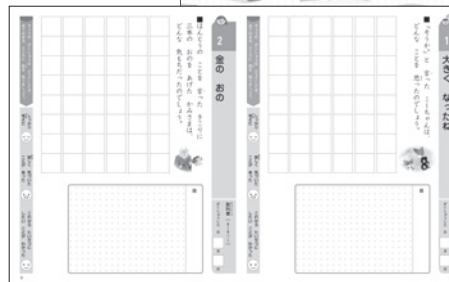
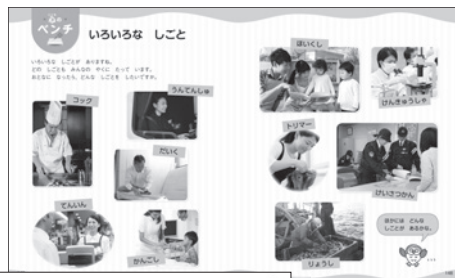
コラム「心のベンチ」を適宜配置し、道徳的価値について、多面的、多角的な見方、考え方によってより広く深く、考えられるようにしました。道徳科以外の教育活動とも関連付けています。

(2) 道徳ノート (別冊)

別冊の「道徳ノート」を付けました。道徳科の時間における児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、指導や評価の参考にもなります。また、児童自らの成長の記録となり、保護者との連携も図れるようにしました。

新たに自由に書き込める欄を設けたので、児童が活用しやすくなりました。地域題材や学級状況に応じた指導にも対応できます。

(p.148～149)



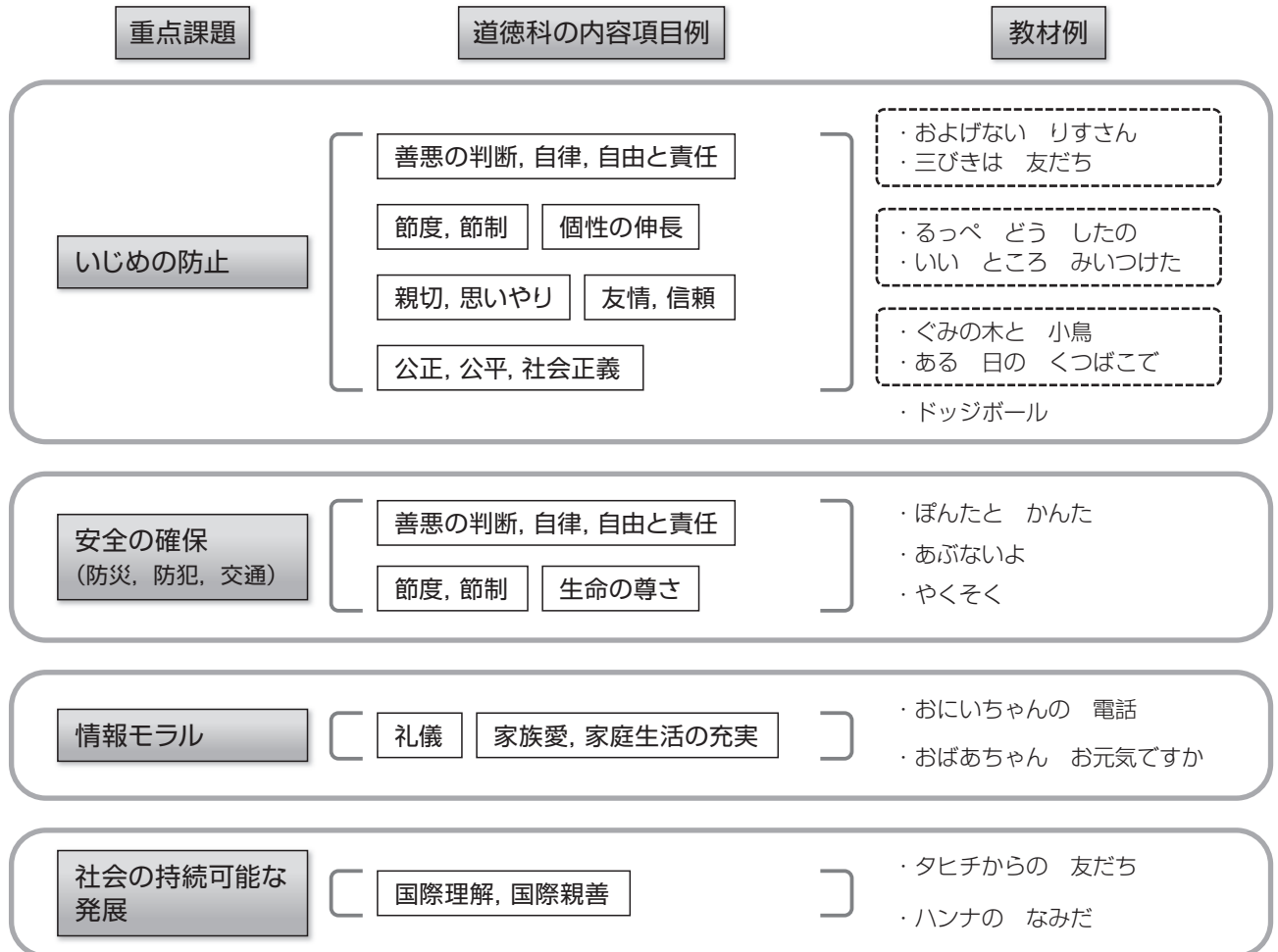
(ノート p.2～3)

1 現代的・社会的課題への対応

下記の現代的・社会的な課題を重視して編修しました。

〔 〕はユニット

重点化した課題への対応



課題への対応
その他の現代
的・社会的な

○「キャリア教育」について考える教材

・本がかりさん がんばって いるね
 ・森の ゆうびん屋さん

2 特別支援教育への配慮 —すべての児童が等しく学べるように配慮

すべての児童が等しく学べるように、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点から次のように配慮しました。

- 1) 文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色使いなど、レイアウトを工夫し、判読しやすくしました。
- 2) 当該学年以上の漢字には、教材ごとにすべて振り仮名をつけました。

3 保護者への配慮 —家庭、地域との連携

「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えるとともに、道徳ノートの活用により、学校・家庭・地域の連携を図る手立てを提供しています。

4 系統性への配慮 —保・幼、小、中の連携

発達の段階を考慮し、保・幼、小連携（低学年）や、小、中連携（高学年）についても、教材の選定や表現方法、レイアウトにおいて工夫を加えました。

2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標と図書の構成・内容との対照について、各教材とその該当箇所を表示しました。

基本法第2条 (教育の目標)	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	オリエンテーション	豊かな情操と道徳心を培うため、生き方についての思いや考えを主体的に深められるよう道徳授業の学び方を紹介しました。	p.③～3
	正直・誠実 2 金のおのほか 17	利己的な考えに立つことがある人間の弱さを通して、うそやごまかしをせず生活しようとする心情を育てようとしてしました。	p.6～9 ほか
	節度・節制 28 どうしてないてるのほか 10, 14	物の使い方の大切さに自ら気づくことにより、物を大切にしようとする判断力を育てようとしてしました。	p.118～121 ほか
	希望と勇気、努力と強い意志 24 なわとびほか 32	めあてをもって努力する大切さに気づき、やるべきことをしっかりやり抜こうとする心情を育てようとしてしました。	p.104～105 ほか
	感動・畏敬の念 31 七つの星ほか ②	人の心の内にある美しいものに気づき感動することで、それを大切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.132～135 ほか
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	善悪の判断、自律、自由と責任 30 ある日のくつばこでほか 3, 19	過ちを振り返ることで、よいことと悪いことを区別し、よいことを進んで行おうとする態度を養おうとしてしました。	p.126～131 ほか
	個性の伸長 15 いいところみいつけた	他者からの評価などを通して自分のよさについて考え、それを伸ばそうとする意欲を高めようとしてしました。	p.62～67
	勤労、公共の精神 34 森のゆうびんやさんほか 4	仕事で感じるやりがいについて考えることで、みんなのために働こうとする態度を養おうとしてしました。	p.144～147 ほか
	家族愛、家庭生活の充実 22 おばあちゃんお元気ですか	祖母へのメールを通して情報モラルについても考えることで、協力し合って楽しい家庭を築こうとする態度を養おうとしてしました。	p.92～95
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	親切、思いやり 23 くりのみほか 9, 29	他者の優しさに触れることで思いやりの大切さについて考え、親切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.98～103 ほか
	感謝 21 きつねとぶどう	親が子を思う愛情に気づくことで、日頃世話になっている人々に感謝しようとする態度を養おうとしてしました。	p.88～91
	礼儀 33 あいさつがきれいな王さまほか 7, 18	挨拶が互いを明るい気持ちにすることに気づき、気持ちのよい挨拶に心掛け、接しようとする心情を育てようとしてしました。	p.138～143 ほか
	友情、信頼 5 およげないりすさん	仲間外れは相手も自分も嫌な気持ちになることに気づき、友達と仲よくしようとする態度を養おうとしてしました。	p.18～21
	規則の尊重 8 ーりん車ほか 20, 27	約束やきまりの大切さを考えることを通して、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養おうとしてしました。	p.32～37 ほか
	公正、公平、社会正義 6 三びきは友だちほか ①	不公平な対応がいじめにつながることに気づき、好き嫌いとらわれず接しようとする心情を育てようとしてしました。	p.22～25 ほか
	よりよい学校生活、集団生活の充実 25 わたしたちの校歌	校歌を含め学校の伝統やよいところに気づき、学校生活を楽しくしようとする心情を育てようとしてしました。	p.106～109
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命の尊さ 26 やくそくほか 1, 35	事故を通して自分の命は自分だけのものではないことに気づき、命を大切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.110～113 ほか
	自然愛護 16 虫が大きいーアンリ・ファーブルー	虫について熱心に観察する主人公の姿を通して、自然に親しみ、動植物を大切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.70～73
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 11 ぎおんまつりほか 13	身近な祭りについて考えることを通して、そのよさを感じ、伝統や文化を大切にしようとする態度を養おうとしてしました。	p.44～47 ほか
	国際理解、国際親善 12 タヒチからの友だちほか ③	他国の友達と接することを通して、そのよさを知り、他国の人々や文化に親しもうとする意欲を高めようとしてしました。	p.50～53 ほか

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-17	小学校	道 徳	道 徳	2 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 206 207	小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2	どうとくノート	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「よりよく生きる力」を育むために

一人ひとりの児童たちと、そこに寄り添う教師とが作り上げていく教科「特別の教科 道徳」。その実践を通して「よりよく生きる力」を育むことをサポートする教科書として、「学習指導要領」の主旨を踏まえ、特に次の点に意を用いて編修しました。

特色 1 授業の流れが見える — 質の高い授業を保証する工夫として —

1 発問例によって授業の流れが見える — 質の高い授業を保証する工夫として —

教材に応じて、授業の進行に沿った3つの発問の例を全教材に示しています。これらの発問例によって、教師にも児童にも授業の流れが見え、見通しをもって豊かな学習活動をおこなうことができます。

見つけよう 生かそう
学習を通して学んだこと、わかったことを自発的に確かめ、活かしていくための発問例です。

考えてみよう
教材のねらいに迫るヒントとなる発問例です。

導入の発問例
教材に入り込むきっかけとなる発問例です。

23 くりのみ
あなただけの心

(p.98 ~ 101)

2 「学習の手引き」によって授業の流れが見える

指導方法を工夫することで、主体的・対話的な学習による「深い学び」が実現すると考えられる教材には、「学習の手引き」のページを用意しています。

このページを参考にさせていただくことで、質の高い、多様な学習方法の具体例がわかり、問題解決的な学習、体験的な学習、さらに特別活動等を生かした学習に児童が主体的に取り組むことができるとともに、対話を通じた多様な見方、考え方にふれるなどして、深い学びを実現することができます。

「あなたがい心について 考えてみよう」

1. 読み聞かせを聞き、内容をよく理解しよう。

2. 友達と話し合い、自分の考えを伝えよう。

3. 先生や友達の前で自分の考えを発表しよう。

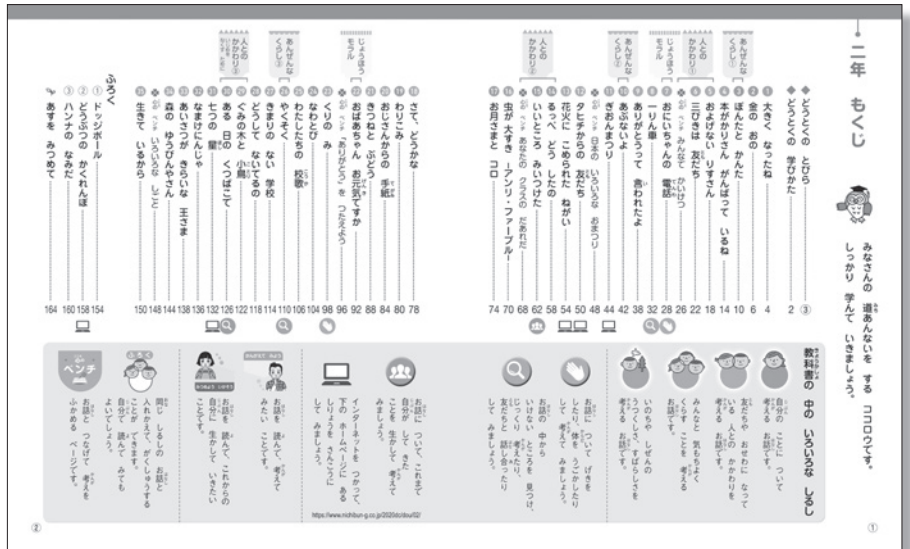
4. 自分の学習の振り返りをしよう。

(p.102 ~ 103)

1 関連教材やコラムとのユニット構成 —毎学期に配置—

「いじめの防止」は、重要なテーマとして、複数教材や関連するコラムをユニットとしてまとめて配列しています。また、毎学期にユニットを1つずつ配置して、重点的に扱えるようにしています。

ユニットには、いじめを直接的に扱った教材だけでなく、自己有用感や他者理解など、「いじめ」の克服につながる教材を組み合わせ、知的理解を補強するコラムとも関連させつつ、集中的に取り組めるようにしています。くり返し考え、対話を深めることで、児童自身にいじめを「しない」「させない」「見過ごさない」力をつけさせようしました。



(p. ①～②)

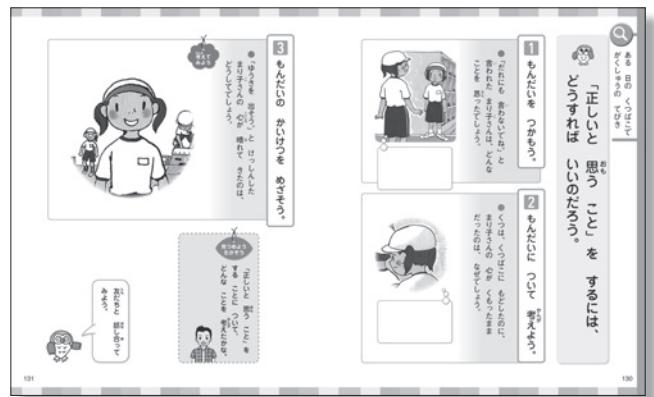
2 多様な学習活動を通して —多様な学び方を通してより確かな理解を—

「学習の手引き」で、問題解決的な学習の手法（下図右）や、役割演技を用いた体験的な学習の手法、多様な実践活動を生かした学習の手法（下図左）を提案しています。このような学習活動の工夫から、「いじめの防止」の、より確かで深い理解につながることをめざしています。

なお、「いじめの防止」に関わる教材で役割演技を提案している場合は、必ず役割を交代して演技をするなどのきめ細かい配慮を示しています。



(p.66 ~ 67)



(p.130 ~ 131)

3 コラムを用いて —多面的・多角的に考える—

教材に関連させて配置したコラム「心のベンチ」を手がかりにして、児童は「いじめの防止」について多面的・多角的に考えることができます。



(p.68 ~ 69)

1 「道徳ノート」のねらいと効果 —各学年に1冊、各教材に1ページ—

「よりよく生きる力」を育むために、児童が「自分の成長」を実感できることを意図して、「道徳ノート」を付けました。このノートの活用によって、児童自身が自らを振り返り、自身の変容や成長を確認することができます。

また、1教材1ページで、指導の実践に即した構成とし、自由に書き込める欄を設けるなど、使いやすさに意を用いました。

「道徳ノート」を活用することで、次のような効果が期待できます。

◆児童にとって

- ◇自分自身の成長の様子を記録し、振り返ることができます。
- ◇児童が表現する場を保証することで、言語活動の充実が図れます。
- ◇自由書き込み欄

- 児童の思いを各々の表現方法や分量で書き表せます。
- 友達の意見を書き込むことにより、多面的・多角的な見方や考え方を育成することができます。
- 記録だけでなく、メモとして議論に備えることができます。

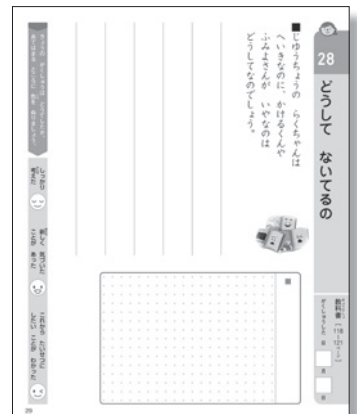
◇教科書に即した共通のノートを使うことで、「考え、議論する」土台を学級で共有できます。

◆教師にとって

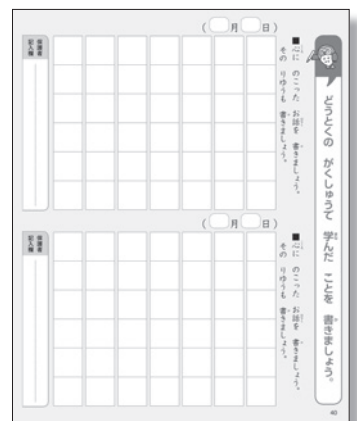
- ◇児童の道徳性の成長の様子が把握できます。
- ◇1年間を通して学習状況を継続的に把握できます。→中長期的な大くりの「評価」にも活用することができます。

◆保護者にとって

- ◇保護者記入欄の活用により、児童の成長へ関わることができます。
- ◇家庭と学校間の連携を円滑にします。



(ノート p.29)



(ノート p.40)

1 各教科等との関連への配慮

他教科や特別活動等との関連を巻末一覧表に明示しました。これにより、カリキュラムマネジメントの充実化に活用することができます。

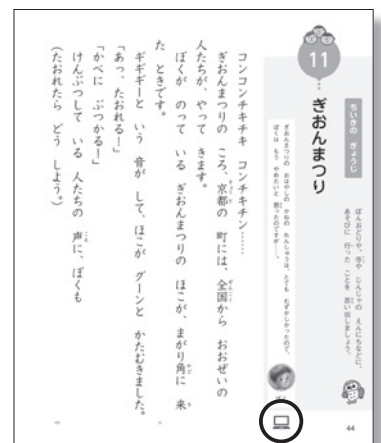
テーマ	他教科等との関連	
全教育		『わたし』
生活		編集委員
いじめ対策	特活(学級活動)	編集委員
		イソップ
	特活(学級活動)	生方 勝
全教育		編集委
いじめ対策	特活(学級活動)	小林
	生活、特活(学級活動)	

(p. ④～⑤)

2 デジタルコンテンツ

—より効果的な授業をするための配慮—

○のアイコンが配置された教材には、授業の導入や展開で活用できる動画資料や、関連画像、挿絵などを、ホームページ上にデジタル教材として準備しました。必要に応じて活用することで、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。



(p.44)

〔本教科書の特色表〕

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	・教育基本法第2条の教育の目標を達成するため、特に次の3点を柱に編修しています。①みずから考えたい！、②授業に躍動感を！、③社会に根ざした道徳教育を！
		学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし、扱うべき内容項目はすべて扱い、重点事項や配慮事項を重視しています。
	公正性	公正性	・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分吟味・検証しています。
		正確性	・検定基準などに照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統	発達の段階への配慮		・児童の発達の段階を考慮した内容とし、1年間や6年間を通した系統性に配慮しました。また、「保・幼、小、中」の連携にも配慮しました。
	配列・分量		・オリエンテーション、本編教材、付録で構成し、適宜関連コラムを配置しています。 ・各学年の配当時間を実施する上で十分な教材数を配置しています。 ・他教科の学習や様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・学習計画や見通しが立てやすいよう一覧性のある目次としました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成		・オリエンテーションのページに道徳学習の意義や授業の流れをわかりやすく示しているの で、学習意欲と主体的な学習態度の育成につながります。 ・児童に感動と共感を与え、興味・関心を高めるような多様な教材を用いました。 ・親しみやすいキャラクターの言葉が児童の学ぶ意識を高めます。
	多様な学習の実現 (アクティブラーニング)		・オリエンテーションのページや自我関与を中心とした教材のほか、問題解決的な学習、体験 的な学習、多様な実践活動を生かした学習の教材を配置しました。 ・児童が多様な学習に対応できるよう、「学習の手引き」を問題解決的な学習、体験的な学習、 多様な実践活動を生かした学習のページに例示しました。
	重点課題	現代的・社会的 課題への対応	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全の確保(防災・防犯・交通安全)」「 情報モラル」「社会の持続的発展」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用 意しました。 ・特に「いじめの防止」に関しては、全学年で重要項目として扱い、各学年毎学期に関連教材 をユニット化して配置しました。
		伝統文化の尊重 と国際理解	・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに他国の文化にも興味・ 関心を持たせ、国際理解・親善に関心を促す教材を用意しました。
その他の現代的 社会的な課題		・キャリア教育などの社会的課題についても取り扱っています。	
その他	家庭学習への配慮		・「道徳ノート」(別冊)は家庭学習との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして伝え、学校、家庭、地域の連 携を示唆しました。
	地域教材の活用・開発		・児童にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮 しました。
	他教科・活動との関連		・道徳教育の要としての特質に鑑み、各教材と道徳的内容で関連する他教科・活動を巻末に明 示し、各教科等と関連付けた効果的な指導ができるようにしました。 ・これにより、カリキュラムマネジメントの充実化に役立つようにしました。
	特別支援教育への配慮		・すべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用 し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。
	デジタル教材の活用		・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。
	判型		・A B判を採用し、写真やイラストを大きくして児童の興味・関心を引きやすくしました。
	文字、印刷、製本		・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名をつけました。 ・書体は、児童に読みやすいように開発した教科書体を使用しました。 ・本文用紙は軽量化した再生紙とし、表紙はコート紙で美感を考慮する予定です。 ・植物油を用いて印刷し、堅牢なあじろ綴じ製本で開きやすくしました。

2. 対照表

第2学年

図書の構成				学習指導要領の内容項目		配当 時数	配当学期	
番号	ページ	教材名	主題名					
1	4～5	1 大きく なったね	生きて いる	D	生命の尊さ	1	一学期 12時間	
2	6～9	2 金のおの	正直な 心	A	正直, 誠実	1		
3	10～13	3 ぼんたと かんた	よい ことと わるい こと	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1		
4	14～17	4 本がかりさん がんばって いるね	みんなの ために	C	勤労, 公共の精神	1		
5	18～21	5 およげない りすさん	みんな 友だち	B	友情, 信頼	1		
6	22～25	6 三びきは 友だち	えこひいきしないで	C	公正, 公平, 社会正義	1		
7	28～31	7 おにいちゃんの 電話	電話の れいぎ	B	礼儀	1		
8	32～37	8 ーりん車	きまりを まもる	C	規則の尊重	1		
9	38～41	9 ありがとうって 言われたよ	やさしく できた	B	親切, 思いやり	1		
10	42～43	10 あぶないよ	あんぜんに くらす ために	A	節度, 節制	1		
11	44～47	11 ぎおんまつり	ちいきの ぎょうじ	C	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1		
12	50～53	12 タヒチからの 友だち	せかいの なかま	C	国際理解, 国際親善	1		
13	54～57	13 花火に こめられた ねがい	ちいきの ぎょうじに したしむ	C	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	1		
14	58～61	14 るっぺ どう したの	わがまを しないで	A	節度, 節制	1		
15	62～67	15 いい ところ みつけた	自分の いい ところ	A	個性の伸長	1		
16	70～73	16 虫が 大すき —アンリ・ファブル—	小さな 生きものたち	D	自然愛護	1		
17	74～77	17 お月さまと コロ	すなおな 心で	A	正直, 誠実	1		
18	78～79	18 さて, どうか	よりよい れいぎ	B	礼儀	1		
19	80～83	19 わりこみ	しては いけない こと	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1		
20	84～87	20 おじさんからの 手紙	まわりの 人の ことを 考えて	C	規則の尊重	1		
21	88～91	21 きつねと ぶどう	かぞくへの かんしゃ	B	感謝	1		
22	92～95	22 おばあちゃん お元気ですか	たいせつな かぞく	C	家族愛, 家庭生活の充実	1		
23	98～103	23 くりの み	あたたかい 心	B	親切, 思いやり	1		
24	104～105	24 なわとび	めあてに むかって	A	希望と勇気, 努力と強い意志	1		
25	106～109	25 わたしたちの 校歌	わたしの 学校	C	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1		
26	110～113	26 やくそく	たいせつな いのち	D	生命の尊さ	1		
27	114～117	27 きまりの ない 学校	きまりの たいせつさ	C	規則の尊重	1		
28	118～121	28 どうして ないてるの	ものや おかねを たいせつに	A	節度, 節制	1		
29	122～125	29 ぐみの木と 小鳥	だれにでも やさしく	B	親切, 思いやり	1		
30	126～131	30 ある 日の くつばこで	正しいと 思う ことを	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	1		
31	132～135	31 七つの 星	うつくしい 心	D	感動, 畏敬の念	1		
32	136～137	32 なまけにんじゃ	しっかりと やりぬく 心	A	希望と勇気, 努力と強い意志	1		
33	138～143	33 あいさつが きらいな 王さま	あいさつって いいね	B	礼儀	1		
34	144～147	34 森の ゆうびん屋さん	おしごとは すてき	C	勤労, 公共の精神	1		
35	150～153	35 生きて いるから	生きて いるって すばらしい	D	生命の尊さ	1		
①	154～157	① ドッジボール	こうへいな たいど	C	公正, 公平, 社会正義	-	-	-
②	158～159	② どうぶつの かくれんぼ	しぜんって ふしぎだね	D	感動, 畏敬の念	-	-	-
③	160～163	③ ハンナの なみだ	ほかの 国の 友だち	C	国際理解, 国際親善	-	-	-
計						35		
ふろく						3		

[備考]

- ・表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第3章第2の内容についてを表す。Aは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事」を示す。
- ・番号①②③は補充教材としての「ふろく」を表しており, 本文教材との代替性, 補充性を目的に使用するため, 配当時数には含めていない。